学校番号	３０８

令和２年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	日本史Ｂ	単位数	４単位	年次	３年次
使用教科書	詳説日本史（山川出版社）						
副教材等	図説日本史通覧　（帝国書院）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・ 歴史の流れを感じるとともに、国内・海外との密接な関係性を重視する。
・ 歴史的事象に対し「なぜ」という疑問と好奇心を常に持つようにする。
・ 歴史的事象、人物像等を通して今、そして将来に対する展望を持つ。

２　学習の到達目標

・日本史を政治・外交・経済・社会・文化など多方面から学び、総合的な観点から歴史認識を養う。
・日本史に関する興味・関心を高め、自国の文化と伝統についての認識を深める。
・歴史を現代の課題と関連して主体的に学び、歴史的思考力を養う。
・歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本人としての資質を養う。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	我が国の歴史の展開に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究するとともに、国民としての自覚と国際社会に主体的に生きる日本人としての責任を果たそうとする。	我が国の歴史の展開から課題を見いだし、世界的視野に立ち我が国を取り巻く国際環境と関連付けて多面的・多角的に考察するとともに、国際社会の変化を踏まえ公正に判断する。	我が国の歴史の展開に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して活用することを通して歴史的事象を追究する方法を身に付けるとともに、追究し考察した過程や結果を適切に表現する。	我が国の歴史の展開についての基本的な事柄を世界史的視野に立ち我が国を取り巻く国際環境と関連付けて理解し、その知識を身に付けている。
評価方法	授業プリント提出 レポート提出 授業態度	定期考査の成績 授業プリント提出 授業態度	定期考査の成績 授業プリント提出 授業態度	定期考査の成績 小テストの成績

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	日本文化のあけぼの	・日本のあけぼの 1 文化のはじまり 2 農耕社会の成立 3 古墳とヤマト政権	 ○ ○	 ○ ○	 ○ ○	 ○ 	a:日本の原始社会に関心を持ち意欲的に追究しようとしている。 b:地域に残る遺跡から原始社会について考察するとともに、その成立過程や特徴を適切に表現している。 c:資料集やインターネットを活用して諸資料を収集し、原始社会のようすを調べるための情報を適切に選択している。 d:原始社会がまだ貧しいがゆえに平等な社会構造であったことを理解し、その知識を身に付けている。農耕の開始によって実力者があらわれ、クニができあがってくることを理解し、その知識を身に付けている。	定期考査 授業態度 プリント レポート
	律令国家の形成・貴族政治と国風文化	・律令国家の形成 1 飛鳥の朝廷 2 律令国家への道 3 平城京の時代 4 天平文化 5 平安王朝の形成 ・貴族政治と国風文化 1 摂関政治 2 国風文化 3 地方政治の展開と武士	 ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○ 	 ○ ○ ○ ○	a:古代国家としての奈良や京都、奈良時代や平安時代の文化に関心を持ち、意欲的に追究しようとしている。 b:古代国家が東アジアの動向と関連して成立したことを考察するとともに、その過程や結果を適切に表現している。 c:古代国家確立に関する史料を読み、そこから歴史的事実や社会のようすを読み、図表などにまとめたりしている。 d:古代国家が天皇を中心になり立っていることを理解し、その知識を身に付けている。奈良時代は律令制の時代であったことを理解し、その知識を身に付けている。平安時代は律令制が変質し、荘園を中心になってきたことを理解し、その知識を身に付けている。	定期考査 授業態度 プリント レポート

1 学 期	中世社会の成立・武家社会の成長	・中世の社会 1 院政と平氏の台頭 2 鎌倉幕府の成立 3 武士の社会 4 蒙古襲来と幕府の衰退 5 鎌倉文化 ・武家社会の成長 1 室町幕府の成立 2 幕府の衰退と庶民の台頭 3 室町文化 4 戦国大名の登場	 ○ ○ ○ ○ ○ 	 ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○	a:武士の出現や武士の生活や鎌倉時代の出来事に関心を持ち、意欲的に追究しようとしている。 中世社会が二つの勢力に別れて争っていることや戦国大名の出現に関心を持ち、意欲的に追究しようとしている。 b:武士の出現や武家政権の成立、その文化や特色と関連付けながら考察し適切に表現している。 南北朝の内乱、室町時代、戦国時代のそれぞれの時代について出来事や文化に着目しながら考察し、適切に表現している。 C:中世社会の成立に関する諸資料を収集し、歴史的事実や社会のようすを読み取ったりできる。 鎌倉時代の寺社や仏像をみてその社会や文化の特徴を読み取ることができる。 室町時代の建築物や庭園から、その社会や文化の特徴を読み取ることができる。 d:武士が土地の所領関係で結びついていること、荘園などを武士が実力で奪い取り力を獲得していく過程を、東アジアの動向が日本の歴史に大きく関わっていることを理解し、その知識を身に付けている。 鎌倉幕府が滅亡したあと、全国の武士や悪党が二つに分かれて戦ったこと、室町幕府と東アジアの関係、守護大名の時代から下克上を経て戦国大名が出現してくること、村の自治がしだいに成長していることを理解し、その知識を身に付けている。	定期考査 授業態度 プリント レポート

2学期	幕藩体制の確立・幕藩体制の展開・幕藩体制の動揺・近代国家の成立	・幕藩体制の確立 1 織豊政権 2 桃山文化 3 幕藩体制の成立 4 幕藩社会の構造 ・幕藩体制の展開 1 幕政の安定 2 経済の発展 3 元禄文化 ・幕藩体制の動揺 1 幕政の改革 2 宝暦・天明の文化 3 幕府の衰退と近代への道 4 化政文化	 ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	a:統一政権成立にいたる過程、「鎖国」やキリスト教の日本への影響などに関心を持ち、意欲的に追究しようとしている。幕藩体制が次第に動揺していく過程や、蘭学・国学の普及、民衆文化の発展などに関心を持ち、意欲的に追究しようとしている。 b:織田信長や豊臣秀吉による天下統一の過程や、徳川家康の築いた江戸幕府のシステムの特徴について考察し、適切に表現している。幕府の改革についてそれぞれの特色をおさえつつ、幕藩体制の矛盾が表面化していくかていについて考察し、適切に表現している。 c:織豊政権や徳川時代に関する資料や絵巻などの諸資料を収集し、その社会の特徴を読み取ったり図表などにまとめたりしている。五街道などを調べる事により、この時期に江戸と諸地域の関係が同型制されていくかを読み取る。地域に残る遺跡や伝説や地域にあった寺子屋など江戸時代の民衆の生活に関する諸資料を収集し、その社会や文化の特徴を読み取る。 d:天下統一の過程が、ヨーロッパからの影響の元でおこっていること、封建社会が百姓から年貢を取ることによって成り立っていること、幕藩制度の特徴、江戸幕府の貿易の特徴と禁教令の関係を理解し、その知識を身に付けている。幕藩制度が安定する時の特徴、幕藩制度の矛盾の出現の理由、百姓一揆・打ちこわしの背景、幕府の改革の失敗の理由、異国船の接近が幕府のもたらせた影響を理解し、その知識を身に付けている。	定期考査 授業態度 プリント レポート

2 学 期	近代国家の成立・二つの世界大戦とアジア	・近代国家の成立 1 開国と幕末の動乱 2 明治維新と富国強兵 3 立憲国家の成立と日清戦争 4 日露戦争と国際関係 5 近代産業の発展 6 近代文化の発達 ・二つの世界大戦とアジア 1 第1次世界大戦と日本 2 ワシントン体制 3 市民生活の変容と大衆文化 4 恐慌の時代 5 軍部の台頭 6 第二次世界大戦	 ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○ ○	a:開国から幕府滅亡に至る過程、新政府の政策、欧米の文化・思想が日本に与えた影響、日本をとりまく国際環境の変化、日清・日露戦争とその前後のアジアや欧米諸国との関係の推移、大正デモクラシーや民衆の台頭、第 1 次世界大戦とその影響などに関心をもち、意欲的に追究しようとしている。 b:江戸幕府が倒れていく過程や新政府がとった政策、日本の国内事情や当時の国際関係に着目しつつ、日清・日露戦争と第 1 次世界大戦の経過やその結果について考察し、適切に表現している。 c:浮世絵や風刺漫画などから明治維新、文明開化、自由民権運動などのようすを、風刺漫画や雑誌・新聞などの諸資料を収集し、当時の民衆の姿を読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:開国が与えた影響、討幕運動の特徴、新政府の政策の特徴、自由民権運動の内容、日清・日露戦争のそれぞれの性格と特徴、植民地支配の特徴と植民地からの抵抗、大正デモクラシーの特徴、戦争に傾斜していく過程がどのようなものであったか、戦時中の日本とアジア諸国の関係を理解し、その知識を身に付けている。	定期考査 授業態度 プリント レポート

3学期	占領下の日本・高度経済成長・激動する世界と日本	・占領下の日本 1 占領と改革 2 冷戦の開始と講和 ・高度経済成長の時代 1 55年体制 2 経済復興から高度成長へ ・激動する世界と日本 1 経済大国への道 2 冷戦の終結と日本社会の動揺	 ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○	 ○ ○ ○	 ○ ○ ○	a:戦前と異なり戦後は国民が主人公になった時代であることや、戦後の社会の変化の大きさ、経済の発展や国際社会における日本の役割、現代日本のかかえる課題などに関心を持ち、意欲的に追究しようとしている。 b:大日本帝国憲法体制と日本国憲法体制の根本的なちがい、戦後日本がアメリカとの関連を強めていくことの問題点、現代日本がかかえる様々な課題について考察し、適切に表現している。 c:新聞や雑誌・漫画から戦前と戦後の変化を読み取る。様々な資料から戦後日本を世界史の中に位置づけて考察し、その特徴を読み取る。年表や新聞・雑誌を活用して現代の日本と世界の関係について調べるための情報を適切に選択している。 d:戦後は基本的人権の尊重・国民主権・平和主義を基本政策に出発したこと、戦後世界の動向と日本との関わりについて、戦後の世界と日本の変化の過程を、ドルショックやオイルショックにいかに対応し経済大国への道を歩んでいったか、今日の資源エネルギー問題について、事実に基づいて考察し、その知識を身に付けさせる。	授業態度 プリント レポート
	テーマ学習	テーマをさだめて、考えを深める。	○	○	○	○	各テーマにふさわしい教材を選択する。	プリント、発表（プレゼンなど）

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。